

# 就活メイクを理解するための提案

## Suggestions for understanding job hunting makeup

中里 風景

指導教員 氏家 和彦

サレジオ工業高等専門学校、デザイン学科、生活文化マネジメント研究室

キーワード：就活、メイク、仕掛け絵本

### 1. 研究目的

就職活動の際にどのようなメイクや髪型で面接に挑むかわからなかつたので、インターネットで調べてみたところ、どのサイトも文章量が多くつたため読み進める前から気が滅入ってしまった。友人に確認したところ、どう考えたら良いかよくわからないという意見が多く、多くの人がこの内容で悩んでいることがわかつた。そこで、もっとわかりやすい形で就活の際のメイクや髪型について知ることができる手段があれば良いと考え、研究していくことにした。

### 2. 調査内容

まず、就活の際の見た目がどれほど採用に関わるのかということから調べてみた。株式会社マイナビ 地域活性事業部を通じて、実際に人事担当社にアンケートを実施した内容では、「かなり関わる」(36.1%)、「少し関わる」(50%)と8割以上が「採用に関わる」と回答していた。この調査結果から、就活での見た目の重要さを改めて確認することが出来た。

2つめに、初めて就活メイクに触れる人が特に知りたいこと<sup>(図1)</sup>はどんな内容かについて調べてみた。

メイクの濃さ(度合い)によって、清潔感や知性的な印象が左右されるという観点から、最も知りたいとされていたのは、ケベイのラインや口紅の色、チークやファンデのトーンなどメイクの濃さについてだった。

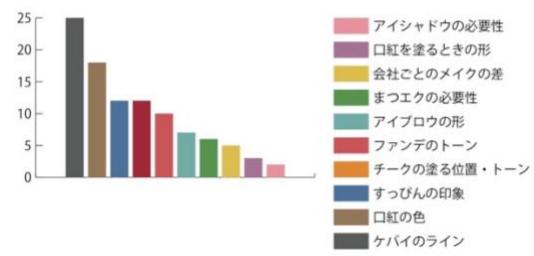


図1. 就活情報サイト clutch-times のアンケート

3つめに、化粧品会社(資生堂)と就活支援会社(マイナビ)の就活メイクサイト<sup>(図2)</sup>の内容を改めて確認してみた。改めて見直してみたところ、できるだけ丁寧に内容を説明しようとしているため、メイクの手順一つ一つがとても事細かに書かれており、結果的に、その文章の長が長くなってしまった。気後れしてしまった。



1. 風みが集中しやすい頬(①)はファンデーションやコンシーラーでしっかりカバーしましょう。ただし厚塗りは、フレッシュ感を損なうのでNGです。  
2. まぶたに沿ってチーク(②)、フェイスライン(③)の感に薄くなるようになります。フェイスラインは、ブラシやスポンジに残ったファンデーションで薄くなじませる程度でOKです。

メイクパフにマット(艶消し)タイプのフェイスパウダーを均等に含ませ、顔全体につけていきましょう。顔の凹凸に沿うように丁寧にパフを置いて、フェイスパウダーを留めてください。まぶたまわりは、ファンデのヨレを直してからおせましょ。下まぶたのオワにまきちゃんとパウダーをつけると、化粧崩れがしにくくなります。

**ONE POINT ADVICE**

- 厚塗りも超薄塗りも、共にNG! 絶対ダメ
- ファンデーションはご自分の肌の色に近いものを選んでましょう。
- フェイスパウダーを目の下にもまきちゃんと塗ることで、パンダ目の防止にも!
- 顔にメリハリや明るさを出したいなら、Tゾーンと目の下にパナナ色のハイライトカラーをのせるといいですよ!

図2. メイク解説例(資生堂、マイナビ)

現在あるメイクに関する解説は、実際に自宅などでメイクを学ぶことを前提に作られており、いろいろな資料で細かに説明されているため、気後れしてしまうことが多い。よりわかりやすく、いつでもどこでも確認できるものがあれば、学ぶきっ

かけになり、実際の就活時に確認することも可能になるのでは無いだろうか。そこで、これら3つのポイントをもとに、就活メイクに対するポイントチェックツールがあれば、もっとわかりやすいのでは無いかと考えた。

### 3. コンセプト

ターゲット：就活を始める学生。

コンセプト：就活メイクを楽しく直感的にいつでもどこでも、手軽に確認できるツール。

### 4. アイデア展開

まず、どこでも使えることを前提に、スマートフォンを活用したデジタルでの展開か、紙媒体での展開で検討した。スマートフォンのメリットは、常に持ち歩いていることと、アプリでの展開により細かな解説が可能になることである。デメリットとしては、実際の面接会場では使用しにくい、不慮のバッテリー切れ、またメールや電話、SNSなどの通知のため他のことに気を取られやすいことにあると予測される。

紙媒体のメリットは、小さなものであれば、本当にいつでもどこでも確認できるということである。デメリットは動画などの表現が使用できないなどの表現上の制限にある。

今回は、いつでもどこでも気軽に確認できることを第一に考えるため、最終的に確認するためのツールとして、スーツでもひっそり忍ばせられる小さなポケットサイズの紙媒体での展開（図3）を考えていく。内容は、最終的に確認するためのポイントをピックアップし、その内容を思い出すことができるようしていく。

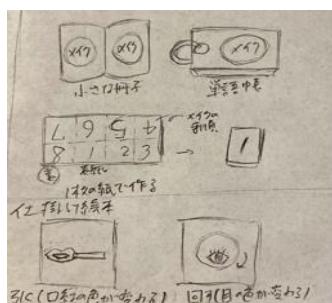


図3. 紙媒体へのアイディア

### 5. 最終提案・課題

最終提案物は、いつでもどこでも、気軽に楽しんで確認ということを一番に考え、小さな小冊子の展開を想定している。

また、より楽しんで気軽に使ってもらえるための仕掛けや、ビジュアル表現についても、新たなアイディア展開を進めていくことが必要である。

### 6. 参考文献

1) 人事担当者の97%が認めた就活メイク

<https://clutch-times.com/articles/135>

2) 【就活メイク完全版】資生堂

<https://www.shiseido.co.jp/sw/beautyinfo/sp/DB009213/>

3) 女子学生ナビ就活メイク講座-就活準備-マイナビ 2023

<https://job.mynavi.jp/conts/2023/tok/woman/make/>

4) 気になる就活メイク疑問点アンケート

<https://clutch-times.com/articles/135>